

第2話 デジタル化する心(3) 最後のワンピース

●「僕らはグーグルを人間の脳に移植したい」

と熱く語るのはグーグル創業者ラリー・ページである。日本経済新聞ネットと文明取材班は、「検索脳の限界」¹⁾で『広大な知識と人体の結合。未来世紀の生々しい人間像が垣間見えた。』と語る。グーグルの狙いは、個人の脳に封じ込められた思考回路、つまり最も効率的に最適解を見つける「検索脳」とインターネットの「検索機能」を、脳-コンピュータインターフェイスで結合するサイボーグ型情報革命である。人はどこまで人類(ホモ・サピエンス)でありうるのだろうか。(『』内は原文のまま引用した。)

●デジタル化による「情報の間引き」(本誌2007年1月)や、

「実物を超えた修正の常態化」(本誌2007年2月)は、人の意識や心が真実から遠のくことを意味する。それは人の脳に影響を与え、写真家藤原新也氏の言う脳気質の変化を引起すだろう。情報の間引きは、脳の当該領域で発火するニューロンの減少を意味するだろうし、それはある意味、アルツハイマーを想起させる。そして、実物を超えた修正は視覚的失認症²⁾を想起させる。好むと好まざるに係らず、現代社会はグーグルの狙いを補強しつつあるように思える。

●工業デザイナー深澤直人氏はネット検索を使わないという。深澤氏は語る。『デザインに必

要なピースはほとんど自分の中にある。それらを抽出して適所に置くと、最後の一個が浮かび上がる。このイメージを寸分たがわぬ形に製作した時、新しい価値が生まれる。(「検索脳の限界」)』世界はいわばジグソーパズルである。私たちが生きるということは、このパズルへの挑戦である。人生の壁に直面した時の「答え」とは、パズルの最後のワンピースである。答えにいたる『必要な要素は衣食住や雑踏にあり、繊細な五感があれば感じ取れる。(深澤氏)』『体得した知識と感性で足りないパズルの一片に気づく能力を「気づき脳」と言い、ネットが人類を進化させるカギは「検索脳」の情報力を生かす「気づき脳」の発達にある。(ネットと文明取材班)』この「気づき脳」は、人の大脳皮質に眠る“状況を全体(アナログ)的に把握する力”であり、デジタル社会で一層重みを増す人間関係の潤滑油の働きを成す力とも言えそうである。

●人間関係といえば、昨今のいじめ問題³⁾は、

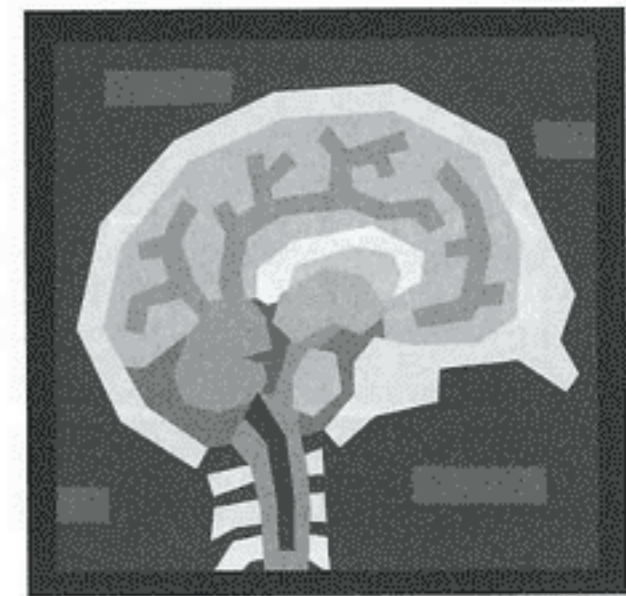
いじめる側がいじめられる側の性格の一部を抜出し、イライラ感を複数で共有し、増幅することに起因する。だが、人の心の不思議さで、恐らく抜出される性格はいじめる側にも配されていて、それがあたかも相手に誘発されるようにノイズとして共鳴することが、いじめの根本原因と思える。いじめる側の心の特定の周辺にノイズが発生する状況は、デジタル化における情報の間引きと類似している。

いじめる側は体内のノイズをカットし、省くことを心地よいと感じるからいじめに走る。彼らがノイズの無明を脱するには、ノイズカットした情報に「気づく」必要がある。「気づいた」情報を、最後のワンピースとして現実の生活シーンに組み込み、パズルが完成した時、自分も相手も救われるだろう。むつかしい課題だが、世論はいじめられる側の視点に偏りすぎ、いじめる側にはなから匙を投げていているように思える。

茶道の心である「綺麗さび」は、「心の内を綺麗にして人を思いやること」だった(本誌2007年1月号)。「思いやり」を「気づき」と言い換えることもできる。未来のグーグル文明圏と人類の共存共栄の道は、ジグソーパズルの最後のワンピースを探し出す、日本古来の知恵に隠されているかも知れない。最後のone pieceは one peaceにつながるだろうか?

(参考引用文献)

- 1)「検索脳の限界」(日本経済新聞連載記事「ネットと文明」第7部「覇権の功罪」③、2006年10月20日付)
- 2)「妻を帽子とましがえた男」(オリバー・サックス著、晶文社、1992年1月)
- 3)「教室の悪魔」(山脇由貴子著、ポプラ社、2006年12月)



◎編集後記

「もしもし、私だけど…」 「ごめん電池切れ、切るね」ある日の携帯電話での会話。仕方ないやと思って携帯を切る。こんな経験をしたことのある方は多いでしょうね。通話中、電池切れで半ばパニックになったり、携帯電話を忘れて出かけた時には妙に落ち着かず、不安な気持ちになったりと依存度は日に日に増すばかり。電池の進歩も必要だけど、確かに充電の不便さの解決も大切と頷きながらお話を伺っていた。電波で充電できる日がきたら、本当に便利だろうな。数日前、電車で電池切れパニックを引き起こした私は、痛切に思います。(あした)

◎編集部からのお願い

NTSニュースでは読者の皆様からのお便りや投稿をお待ちしております。また、開催予定の勉強会・イベント等、掲載をご希望される方は下記宛までご連絡ください。

〒113-8755 東京都文京区湯島2-16-16 (株)エヌ・ティー・エス「NTSニュース」係
FAX: 03-3814-9152 E-mail: eigyo@nts-book.co.jp

NTSニュース

2007年3月号(通巻97号)
2007年3月8日発行